

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの6月の販売室数は前年比23%減なのに対し、6月末時点での9月の予約室数は前年比25%増とプラスに転じている。
	○	百貨店（店舗企画）	・前年の8月は緊急事態宣言が発出され、本年はその反動で良くなるとみているが、それとは別にワクチンの職域接種の動きが活発になりつつあるので、気分的にも上昇傾向になることを期待したい。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス対策による自粛のため、近隣での買物客が増えてきたので、弁当総菜を増やしていく。
	○	コンビニ（店長）	・県内は感染拡大予防のため、飲食店や大型ショッピングセンターの20時閉店が続いている。しかし、7月12日から緊急事態宣言が解除され営業時間も通常になれば、各店の営業の通常化と、ワクチンの普及が進むことで今よりは良い景気になるとみている。
	○	コンビニ（代表者）	・ワクチン接種の拡充により、10月以降くらいから観光客も戻り、県内経済も少しずつ回復すると考える。
	○	コンビニ（副店長）	・来月に予定どおりに緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種者も増えれば人流が増えると期待したい。
	○	衣料品専門店（経営者）	・梅雨も明け、緊急事態宣言が解除され、今よりも人の動きは活発になるとみている。
	○	家電量販店（総務担当）	・緊急事態宣言の終了とワクチン接種が進むことで客の行動も変化が期待される。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・緊急事態宣言が解除され、夏休みにも入ることから旅行者数は増えると思われ、若干良くなると考えている。しかし、2019年の同時期と比べてまだ4割程度と予測している。
	○	通信会社（営業担当）	・今後新型コロナウイルスの感染が落ち着き、ワクチン接種も広がっていけば客足も戻ってくると期待している。9月には新機種の発売も予想されるので、秋から年末にかけては市場も活気付くのではないだろうか。
	○	観光名所（職員）	・7月の連休は航空便も増便しているので多少良くなるのではないかと考えている。あとは新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・先行きの予約状況は上向きに推移しており、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいることで今後の需要が期待できる。
	○	住宅販売会社（役員）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが、現在よりは客の動きが活発になり取引件数も上向くとみられる。
	□	一般小売店 [酒]（店長）	・具体的な政策がない飲食関連の人たちにワクチン接種すべきである。
	□	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数や緊急事態宣言の期間にもよるが、しばらくは不安定な状況が続くとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は緊急事態宣言の延長など、もろもろの状況が重なっているのか、客が少なく、売上がない状況が続いている。景気は悪いままである。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・人気車種の生産が遅れているので、販売、売上が伸びない。
	▲	スーパー（販売企画）	・将来の景気判断は新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種状況による影響が大きいとみているが、いずれにしても先の見通しが分かりにくい状況が続いている。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・緊急事態宣言中で県民は自粛中だが、観光客は増えてきている。宣言全解除後、数週間から数か月でまた元に戻るのを繰り返している。全く先がみえない。
▲	住宅販売会社（代表取締役）	・工事契約件数、契約金額共に減少傾向にある。また、投資案件に関する金融機関の融資姿勢が厳しくなっている。	
×	商店街（代表者）	・現在まん延している新型コロナウイルスに関する規制関係で飲食及び他の一般の営業まで大変危機的状況にある。ワクチンが早く国民に行き渡り、まん延が終息することを願っている。	

	×	その他飲食〔居酒屋〕 (経営者)	・アフターコロナの観光関連の戻りを見越して、資金力に余裕のある本土企業が、閉鎖した店舗や新規店舗の開業準備に動き始めている。飲食業が新型コロナウイルスの温床のようにたたかれていますので、スタッフが退職し、採用を出しても感染を恐れて、アルバイトもなかなか採用できない。また、賃金の上昇、材料の値上げなど、飲食には逆風が吹いている。
企業 動向 関連	◎	食料品製造業(役員)	・7月の緊急事態宣言の解除、夏場の観光のシーズン到来や、7月以降の東京オリンピック、パラリンピック開催もあり、沖縄県への観光客の増加が期待できる。
(沖縄)	○	建設業(経営者)	・見込み度の高い客の相談が増えてきている。
	○	輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染拡大で戦々恐々としているが、民需部門では大型ホテル等で多少回復している。官需部門でも、宮古島の港湾関連や石垣島の自衛隊関連の建設等で生コンの出荷が安定している。ただし、新規参入船の定着で供給過多が発生し、燃料費高騰の転嫁先がなく苦慮している。
	□	輸送業(経営企画室)	・緊急事態宣言が終了し、一時は景気上昇するが東京オリンピック開催で再度感染者数の増加、変異株の発生等で再度緊急事態宣言が出るとみられる。そのため、現在の緊急事態宣言下と変わらない状態が継続していくものとみられる。
	□	広告代理店(営業担当)	・ワクチン接種が進むなかで、その効果に不安感を抱く声もあり、それが全ての要因か否かは不明であるが、県内企業の販促活動は、相変わらず低迷状態が続いている。
	□	会計事務所(所長)	・ワクチン接種が進み、集団免疫が浸透するにはまだまだ時間を要する。
	▲	窯業土石業(取締役)	・新型コロナウイルスの影響及び資材値上げ等により、民間設備投資の減少が懸念される。
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	人材派遣会社(経営者)	・企業の活動はワクチン接種率の向上により上がっていくものとの期待で、やや良くなると判断している。
	○	人材派遣会社(総務担当)	・ワクチン接種が進んでいくなかで、求人案件が増加すると予想している。
	○	求人情報誌製作会社(営業担当)	・緊急事態宣言が延長せず順調に解除されると、消費者の動きが増加し、求人数なども増えてくる。
	○	学校〔大学〕(就職支援担当)	・3か月後くらいにはワクチン接種が進み、経済活動が元に戻る事が予想される。
	□	求人情報誌製作会社(営業)	・夏シーズンを繁忙期として人材確保を計画、再開している企業は少ない。緊急事態宣言解除後もほぼ同数の求人数の推移と予測している。又は新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては求人数の減少も考えられる。
	□	職業安定所(職員)	・夏、秋の観光シーズンに向けての採用回復の兆しはあるが、新型コロナウイルスの感染状況で今後は不透明である。
	□	学校〔専門学校〕(就職担当)	・なかなか落ち着いた新型コロナウイルス、そして7月下旬に控えている東京オリンピックもあり、企業が活発に動き出すとは考えにくいいため、現状維持だと考えている。
	▲	—	—
	×	—	—